

不適切な操作による波及事故(1/2)

● 事故発生状況

事故のあった事業場近辺は当日小雨がちであった。

×時×分 昼間、当該事業場がSOG動作により停電
<この際は波及事故とはならず。SOG正常動作>

×時×分 夜間になり、職員は退社していたため、
警備会社から主任技術者は停電の連絡を受けた。

×時×分 現場到着後、事故点を探したが、
夜間であり、発見に至らなかった。

×時×分 柱上開閉器の投入操作
SOG動作により再び停電。
再点検を行うも、事故点発見に至らず。

×時×分 開閉器の再投入操作。
SOG動作せず、波及事故に至った。

×時×分 電力会社の投光器により事故点を探したところ、
柱上のLAの焼損を発見した。

不適切な操作による波及事故(2/2)

● 原因

1. 原因特定がされていないにも係わらず、投入操作を繰り返した。
2. LAが老朽化(製造から39年経過)していたため、絶縁が低下していた。
3. 電力会社との保護協調がとられておらず、本来動作すべきSOGが適切に動作しなかった。

● 再発防止対策及び教訓

1. 原因特定がなされるまでは操作を行わない。
2. 老朽化設備は適切に更新する。
3. 保護協調については電力会社と連絡を密にする。